

PROFILE



氏名

小泉 大輔(Daisuke Koizumi)准教授

模擬授業タイトル

大学で学ぶ経営学とはどのような学問か

研究分野

人的資源管理

基本情報

人材の多様性をキーワードとし、性別、年齢、雇用形態、キャリアなどと人事管理、パフォーマンスとの関係を理論的・実証的に研究している。

受験生へのMESSAGE

机上の理屈ばかりで"実務はやれるもんじゃない"というその実務家の矜持に支えられる理屈を探求するところが"人事管理研究の面白いところ"です。働き方が"転換期を迎えていた今、ともに研究する学生をお待ちしています。

SCHOOL OF ECONOMICS & BUSINESS ADMINISTRATION · 国際商学部



サマープログラム

吉永 崇史

この講義では、海外の交流協定校を中心とした大学から招へいする学生と一緒に、ソーシャル・イノベーションについて実践的に学びます。具体的には、少人数のグループにわかつて、SDGs(持続可能な開発目標)の考え方方に基づき、主にサービスの観点から社会的課題を解決するためのビジネス・モデルを開発します。この講義はすべて英語で行われます。参加する海外大学学生とのグループ活動を通じて、さまざまなソーシャル・イノベーションに関する事例に触れながら、ワークショップ、フィールドワーク、ディスカッションやプレゼンテーションといったアクティブ・ラーニング(能動的学修)に取組みます。この講義に参加することで、文化の異なるメンバーとの英語でのディスカッションに積極的に参加し、成果を出すことにつなげることができます。

JAPANESE ECONOMY

隨 清遠

日本経済は、特に明治維新以降、驚異的に発展してきました。しかし、1990年代以降、景気低迷を経験する時期も多くありました。この授業では、平易な英語を使って、①時系列で見る日本経済の歴史的変遷、②国内総生産、物価水準、雇用、貿易、保有資産、所得分布(貧富の差)等の経済データに関する日本と諸外国との比較、③1980年代後半における、いわゆるバブル経済が発生した背景とその影響、④近年日本で実施してきた経済対策の内容と評価、⑤現在の政策課題と今後への展望等のテーマを議論します。関連する経済学の基礎理論は必要に応じて解説します。欧米からの留学生も多く参加しており、クラスでひとつのテーマを解説した後、ディスカッションの時間を設けて受講者の感想や意見、可能な場合、受講者の出身国の状況との比較を紹介してもらいます。この授業を通じて日本の経済と社会を理解するための知識を深めることができます。